

## 議 事 録

会議名称	平成31年度第1回泉南市総合教育会議		
日 時	平成31年4月23日(火) 午後5時10分～午後5時30分	場 所	泉南市埋蔵文化財センター — 講堂兼視聴覚室
出席者	竹中勇人市長、古川聖登教育長、片木哲男教育委員、柳澤泰志教育委員、 藪内進教育委員、太田淳子教育委員		
事務局等出席者の職氏名	(事務局職員) 真鍋康之副市長、野澤幸徳総合政策部長、伊藤公喜総合政策部次長兼政策推進課長、古木孝彦秘書広報課長、山下修宏政策推進課主査 (教育委員会事務局職員) 岡田直樹教育部長、稲垣豊司教育部参与、阪上浩之教育部次長兼人権教育課長、桐岡秀明教育総務課長 岡崎進一教育総務課主幹兼総務係長 森岡夕貴教育総務課総務係員		
議 題	泉南市教育大綱について		

### 【事務局職員（総合政策部次長兼政策推進課長）】

まず開会に先立ち、改めて事務局から、当総合教育会議の目的と役割をご説明させていただきます。

当総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正を受け設置されたものであり、市長と教育委員会で構成され、会議の招集は市長が行うこととされている。

法に定められたこの会議の目的は、1つ目、市長が教育行政に果たす責任や役割を明確にし、市長が公の場で教育政策について議論することを可能にする。2つ目、市長と教育委員会が協議・調整することにより、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを可能にするために設置されたものである。

また、この総合教育会議が取り扱う事項は、①市長が策定する教育行政の大綱に関すること、②教育環境や教育条件の整備など重点的に講ずべき施策、③児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置、の3点を協議・調整することとされている。

以上が、当会議の目的と趣旨となっている。

なお、本日、傍聴等の要請はないことをお伝えする。

—開会—

### 【市長】

本日の総合教育会議では、次第のとおり、教育大綱についてとなっている。

泉南市教育大綱は、平成27年度に皆様のご協力のもと作成させていただいたが、計画期間が平成31年度までの5年間となっており、今年度見直しをさせていただきたく、皆様の

ご意見を頂戴したい。また、泉南市教育大綱策定後、泉南市教育振興基本計画を改定いただいた。改定する際、教育問題審議会で小中一貫教育を進めるというご提案をいただいているが、その点については、現在の泉南市教育大綱には盛り込まれていない。その点も踏まえ皆様のご意見をいただきたい。

続いて、教育長にご挨拶をいただく。

#### 【教育長】

教育と行政との関係は難しいところもあるが、新制度の趣旨と利点を活かし、市長と教育委員会が1つの理想のもとに心を1つに子ども達の幸福のために力を合わせていく会議であると承知しており、委員の皆様と活発な意見交換を行いたい。

また、今後の泉南市の教育は、小中一貫教育、さらに幼・保・子ども園を含め、教員が連携し子どもの育成を図ることが重要である。また、世界のグローバル化が進む中で、「関西空港のまち」泉南市の特色ある教育を教員の授業力の向上を図る中で、行政と学校が一体となって作り上げてまいりたい。教育の振興のため関係者が一丸となって取り組んでいくことが重要である。微力であるが力を尽くしたい。

#### 【市長】

先ほども申し上げたとおり、現在の泉南市教育大綱は、計画期間が残り1年となっている。

また、教育問題審議会で提言された小中一貫教育については盛り込まれていない。もう1点、現在の泉南市総合計画が2022年までの計画となっている。泉南市教育大綱を見直す際に、泉南市総合計画と合わせ3年の計画期間とするのか、または、教育の方針は5年の計画とすべきか、ご議論いただきたい。

泉南市教育大綱を改定した後、泉南市教育振興基本計画を改定する必要があるため、泉南市教育大綱は、9月をめどに改定させていただき、その後、半年かけて泉南市教育振興基本計画の改定を可能であればお願いしたいが、泉南市教育大綱の計画期間と改定時期についてご意見を頂戴したい。

#### 【教育長】

現在の泉南市教育大綱は、改定時に十分ご議論いただいた上で改定されており、大幅な改定は必要ないかと考えている。一方、本市では、すでに小中一貫教育に取り組んでいる状況もある。また、新学習指導要領の本格実施も見据え、本市の特色である「関西空港のまち」ということを考えれば、教育の国際化を図っていく必要があると考えており、泉南市教育大綱に盛り込んでいく必要があると考える。

泉南市教育大綱の計画期間については、泉南市総合計画との関係を考えれば、3年間の計画期間とする方が良いのではないかと考える。

#### 【市長】

現在の泉南市教育大綱を大きく変える必要はないと考えており、教育長がおっしゃったように、小中一貫教育、教育の国際化に向けた内容を補完するのが良いと考える。

計画期間については、泉南市総合計画の改定時期に合わせて3年間とするか、または、教育の方針として、5年間としても良いと考えるので、皆様のご意見をいただきたい。

#### 【片木教育委員】

来年度から学習指導要領が大きく変わり、英語教育の教科化やプログラミング教育が取り入れられるなど、教育のあり方が大きく変わろうとしている時期であり、長期の計画期間とせず、今後の教育の流れを見るために3年間程度が良いと考える。

【太田教育委員】

幼稚園の3年間、中学校の3年間、小学校でも、1年生から3年生までの成長などをイメージできるので、3年間が良いと考える。

【藪内教育委員】

計画期間を3年間と短期間とすることで、見直しもしやすいと考える。

【柳澤教育委員】

計画期間は3年間で異論はない。

【市長】

皆様のご意見を踏まえ、泉南市教育大綱の計画期間は3年間とさせていただく。

改定スケジュールは、おおむね9月までとし、その後、泉南市教育振興基本計画の改定を行うこととしたい。

次に、今後の総合教育会議の開催方法について、教育委員会定例会と同日とするか、別日で調整するかなど、ご意見を頂戴したい。事務局から案があれば示していただきたい。

【事務局職員（教育総務課長）】

泉南市教育大綱改定スケジュールについて説明させていただく。

改定まで3回から4回の総合教育会議の開催を想定している。本日、第1回は、改定の方向性、方向性への意見交換、今後のスケジュールの確認と考えている。第2回は、6月とさせていただきたい。第2回までに、現在の教育大綱に対する教育委員の皆様のご意見を集約し、泉南市教育大綱（素案）を作成し、第2回目の総合教育会議で、泉南市教育大綱（素案）の概要説明、意見交換を行っていただきたい。第3回は、7月とさせていただき、第2回でいただいたご意見を反映させた修正案の提示と説明、意見交換を行い、大きな修正が発生した場合は、第4回として、8月に開催させていただき、最終案を提示させていただき、ご確認いただき改定したいと考えている。

なお、総合教育会議の開催日については、事務局と教育委員の皆様とで調整させていただきたいと考えている。

【市長】

事務局から説明があったとおり、ほぼ月1回程度の開催とし、泉南市教育大綱の改定を進めて参りたい。

次回、6月の第2回泉南市総合教育会議の日程については、皆様のご意見を取りまとめた泉南市教育大綱（素案）を改定した段階で調整させていただきたい。

本日は、次期泉南市教育大綱は計画期間を3年間とし、小中一貫教育や教育の国際化など、新たな視点を盛り込むことを確認させていただいた。

これをもちまして本日の総合教育会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

—閉会—

平成31年4月23日

泉 南 市 長     竹 中   勇 人

泉南市教育長     古 川   聖 登